

# Vine

「地域の中核、世界の人材」  
UNIVERSITY OF YAMANASHI

山梨大学広報  
ヴァイン

2020  
vol.36  
March

[特集1] 国公立の垣根を越えた連携!

～山梨県立大学と「大学アライアンスやまなし」を設立～

[特集2] 山梨大学新ブランドマーク決定!



[人物発掘] 鈴木健文教授 山梨大学医学部精神神経医学講座

[ゼミ紹介] 工学部メカトロニクス工学科 丹沢研究室

[ぴっくあっぷレッスン] 解剖学A/組織学

[クローズアップぴ〜ぶる] 市川郁弥(教育学部学校教育課程芸術身体教育コース)/今澤早希(医学部医学科)

[サークル紹介] 山梨大学アカペラ部/野外教育サークル/医学部準硬式野球部/医学部男子バレー部

UNIVERSITY OF YAMANASHI NEWS & TOPICS

# 国公立の垣根を越えた連携!

～山梨県立大学と「大学アライアンスやまなし」を設立～



左から島田眞路山梨大学長、清水一彦山梨県立大学理事長・学長

両大学の連携体制により、これまでよりも多様な教育が可能となり、教養教育や専門科目の幅が広がります。また、学生サービスの向上にも力を入れるなど、“学生ファースト”の考えのもと、スピード感を持って両大学の教育資源を活かした連携事業を実施することで、大学の機能を強化していきます。今回は、その一部をご紹介します。

山梨大学では、これまでも様々な取組を展開してきましたが、これからは全国初となる国立大学と公立大学の強力な連携体制の下で、様々な事業を行っていきます。

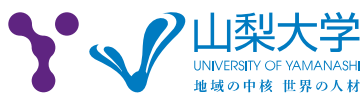
事業の実施に先立ち、令和元年5月に、山梨大学は、山梨県及び公立大学法人山梨県立大学の3者間で連携協力に関する協定を締結しました。その後、両大学で議論を重ね、12月には、地域を支える人材育成やイノベーションの進展に寄与するとともに、地域の発展に資することを目的として、両大学法人が設立時社員となる“一般社団法人大学アライアンスやまなし”を他の国立大学に先駆けて設立しました。



長崎幸太郎山梨県知事(中央)を交え連携協定を締結

## 連携によるメリットとは?

グローバル化やロボット・人工知能などの発展による新たな社会、Society5.0の実現など、目まぐるしく変化する社会情勢。それぞれの大学の強みや教育資源を共有することで、社会の変化に合わせた質の高い教育の提供が可能になります。



教育学部・医学部・工学部・生命環境学部



人間福祉学部・看護学部・国際政策学部



互いの得意分野を活かし、相互補完や関連分野の強化が可能に!社会のニーズに対応した多様な教育を展開します!



## 令和2年4月から実施する取り組みを紹介!

山梨大学と山梨県立大学は、距離が近い場所にキャンパスがあるため、学生同士が様々な施設をお互いに利用することが可能となります。

### ●● 図書館の相互利用ができます!



学問・研究の強い味方の図書館。既に共同利用を開始しており、本の閲覧や貸し出しはもちろん、令和2年4月からは文献複写による電子ジャーナル(論文)の提供やデータベース利用など、サービスを拡大することで、修学環境の充実も図っていきます。

### ●● 両大学の就職活動のサポートが受けられます!



双方のキャリアセンターの利用や就職ガイダンスやセミナーなどのイベント参加など、両大学の学生が利用できる環境を整えています。今後は、就職活動ワークショップなど、事業の対象を拡大し、希望職種に応じた様々な支援を展開します。

### ●● 講義室や体育館などの相互利用ができます!



クラブ活動やサークル活動を行う際、都合に合わせて簡単に両大学の学生が集まります。

## 大学アライアンスやまなしのこれから

現在、国において検討が進められている「大学等連携推進法人(仮称)制度」の活用も見据え、全国初の認定を得られるよう準備を進めていきます。

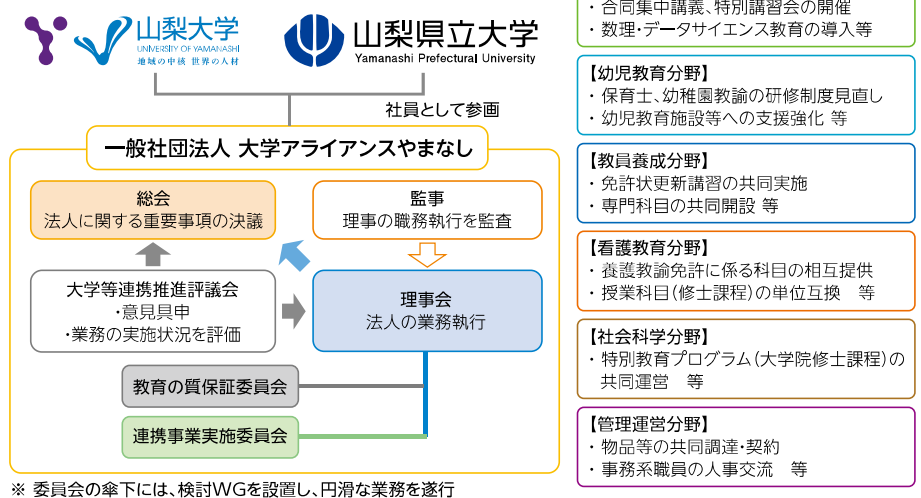
大学等連携推進法人に認定されると、授業科目の共同開設が従来よりも柔軟になることから、両大学の教育資源を最大限に活用して、社会の要請や学生ニーズに対応した科目を用意し、これまで以上に質の高い教育を提供することができます。

また、両大学の教員が運営に参画する特別教育プログラム(修士課程)の開設や専門科目の共同開設など、学部だけでなく、大学院レベルでの連携事業も併せて検討しています。

さらに、教育・研究分野に加え、大学の管理運営に係る連携(事務系職員の人事交流や共同契約(調達)、施設設備の共同利用など)も計画しています。

このように、あらゆる分野において、地域の大学との連携強化

### 【組織概要】



という新たな国立大学のモデルを確立することで今よりも魅力ある大学となり、学生教育や研究活動を通じて地域社会への貢献にも努めていきます。

また、設立に合わせ新法人のHPを開設しました。今後、随時更新しますので、右記QRコードからぜひご覧ください。



# 山梨大学新ブランドマーク決定!

新たな時代に向けて、「地域の中核、世界の人材」を旗標に掲げる山梨大学は、未来に羽ばたくイメージを持ったブランドマークを制作しました。このマークを用いて今後より一層、地域や社会に広くその活動などをアピールする活動を展開していきます。

全国公募の結果、600を超える応募があり、決定したのがこのマークです。ここでは、マークに込められた想いや、マークを活用したグッズなどを紹介します。

その他のカラーバリエーション



緋(あか)色



翠(みどり)色



葡萄(ぶどう)色

※学章との併用以外で使用可



モノクロ

## 公表セレモニーを開催!

令和2年1月22日には、「山梨大学ブランドマーク公表セレモニー」を開催しました。新たに決定したブランドマークが初めて披露されたほか、デザインの考案者である佐々木浩志氏に賞状と副賞が授与されました。



蒼(あお)色

### マークの由来は?

新ブランドマークは、山梨大学のイニシャルであるアルファベットのYと、山梨県の木である楓(かえで)の種子がモチーフになっています。

楓の種子は、鳥などの動物に運んでもらうのではなく、翼果(よくか)という羽に似た形の果皮で、自らの力で風に乗って遠くまで飛んでいきます。その姿と、将来へ羽ばたいていく学生の姿を重ね合わせ、今回のマークは作成されました。また、青空へ羽ばたくイメージから、メインカラーは深い青色としています。

風に乗ってより遠くへ飛翔する楓の種は、山梨大学のキャンパスで実を結んだ成果と人材が、広く世界へ、遥か未来へ向けて届けられる姿を現しています。

### 山梨県の木「かえで」

美しく紅葉することから広く親しまれている。山梨県の山などを美しく彩るさまは、明治～昭和に活躍した俳人・高浜虚子が「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」と詠んだことからわかるように、古来人々に愛されてきました。



種子は独特の形をしています。





## 学章となったマークの由来は？

山梨県の特産品のぶどうとアルファベットのYがモチーフになっています。

たわわに実ったぶどうの房が輝く太陽の光に照らされているところを立体的にデザインしました。

繋がった円は、「学問の融合」と、本学が育んだ教育・研究の情報が地域さらには世界に向け

て発信され、再び本学に戻ってくるという「循環的な相互関係」を、そして、独立した円は、輝く太陽と新しい山梨大学が希求する理念を表現しています。

なお、今まで「シンボルマーク」として使っていたこのマークは、「学章」となり今後も使用していきます。

## ブランドマークを用いたグッズ

新マークを用いた商品をご紹介します！

なお、グッズは山梨大学内の生協購買部やコンビニ等で順次販売予定です。  
今後更に多数のグッズを企画していきます。



ワイン

山梨大学の特色ある研究の一つでもあるワイン。県内のワイナリーと共同開発した逸品です。



Tシャツ

袖と背中にマークをあしらったさわやかな一着。



クリアファイル



USBメモリー、付箋

文房具はこれ以外にも順次制作予定です。

## プロモーションビデオ「芽ばえる、羽ばたく、山梨から世界へ。」公開中！



ブランドマーク決定を記念して作成したPRビデオ「芽ばえる、羽ばたく、山梨から世界へ。」がYoutubeで公開中！

学生から芽生えた種子が羽ばたいていく、ブランドマークの理念を15秒に詰め込みました。  
ぜひご覧ください！

視聴はこちら



## 人物 発掘



山梨大学医学部精神神経医学講座

# 鈴木健文教授

2017年11月、精神神経医学講座に赴任された鈴木健文教授。

勉強はそっこのけでサッカーに夢中だった少年時代から、  
医師を目指した意外なきっかけ、さらには、精神神経学の面白さ、奥深さまで、  
魅力たっぷりに語ってくれました。

### 子どもの頃は、やんちゃなサッカー少年

生まれは千葉ですが、父親の転勤で、何度か引っ越しをしながら子ども時代を過ごしました。小さい頃はやんちゃで、塾などにはほとんど行かず、サッカーばかりやっていたね。

中学では、サッカー部に所属しました。ポジションは、“守らないで攻める人”あるいは、“前の方に何となくいる人”(笑)。一試合でワンプレーくらい良いプレイをして、満足をしてしまうという感じでした。中学に入っても、親から勉強しろと言われた記憶はありません。千葉県市川市の公立中学校で伸び伸びと過ごし、中学2年のとき名古屋に引っ越しをして、高校は私立の東海高校に進みました。

### 友人の影響で医学部に進学

将来医者になろうと思ったのは、高校生になってからです。進学した東海高校には医師を目指す生徒が多かったです。それまで、親族を含め身近に医者がいなかったこ

ともあって、憧れを持つタイミングも、ロールモデルもなかったのですが、急に身近になり、非常にやりがいのある仕事だなあと。そこから医学部を志望するようになりました。

今考えると、中学生のときに名古屋に行っていなかったら、全く違った人生になったんじゃないかと思います。そういう意味では、私の人生のターニングポイントだったのかもしれない。

### 自由な校風のもとで、 自主性が育まれた大学時代

大学は、慶應義塾大学医学部に進み、医学部のサッカー部に入って、仲間とサッカーばかりしていました。大学の校風もあるのですが、あの頃の慶應は、卒業試験が無かったり、授業の出席が緩かったり、先生方もおらかでした。授業を欠席して部活の練習や試合に行ったりして、まじめな学生ではなかったのですが、試験の情報がないとさすがに単位を取れないので、試験前には情報集めに奔走しました。おかげで、情報収集力が磨かれ、友人との絆

が強くなりました。

ただ、今思うと、自主性に期待するというのは、悪いやり方ではなかったのかもしれませんが、試験前には必死になって勉強しましたし、周囲を含め、みなほとんど留年もなく国家試験を無事通過して医師になりました。さらに言えば、医師は、一度なってしまったから安泰ではなく、常に学びが続いていないといけない職業です。とはいえ、ずっと肩に力を入れていたのでは疲れてしまう。適度に息を抜きながら、前に進んでいくということが大事なのかなと僕自身は思っていて、その原点ができたのが、大学時代だったように思います。

今の大学は出席も厳しくなっていますが、締め付け過ぎると疲れちゃうので、そのあたりのバランスは大事にしていきたいと思っています。

### 卒業後は精神科へ進み、 臨床医として患者と向き合う日々

医学部卒業後の進路を選択するにあたっては、手先が器用ではないので外科系は断念し、リュウマチや免疫にも興味があったのですが、とりわけ専門性の高い精神神経科に進むことになりました。つかみどころのない世界だとか、わかっていないことが

多い分野であるといったことに魅力を感じたことが最大の理由ですが、医局の雰囲気の良いにも魅かれました。

その後は、トロント大学への2年間の留学期間を除き、一貫して慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室の精神薬理研究室に籍を置きながら、関連の精神科単科病院である井之頭病院で、多くの患者さんの診療にあたってきました。

精神科は、とても興味深い領域です。僕は、『統合失調症の抗精神病薬の使用の最適化』といったことをテーマに研究を続けていますが、個人的には、精神科一般、すべてが興味の対象です。自分なら、言わないかな、やらないかなということを、言ったりやったりしている患者さんに対して、どうしてこんなことを言ったりやったりしているんだろうと考え、バックグラウンドも含めて紐解いていくのは、とても興味深い作業です。

また、精神科では、薬の使い方ひとつで患者さんの様子が劇的に好転するケースも珍しくありません。対峙していればすぐにわかります。自分が腕を磨くことで、患者さんに喜んでいただける機会も多くなり、役に立っているということが実感できるので、そこは大きなやりがいになっています。

### 解明途上にある精神疾患 学術的興味は尽きない

一般的な身体科に比べ、精神科はまだまだわかっていないことの多い領域であり、学術的興味は尽きません。また、画像診断や遺伝子に代表される分子生物学的アプローチなどの手法を用いて、患者さんの症状と脳機能を結び付けて解明しようという動きも活発化するなど、さまざまな可能性が開けている領域でもあります。

例えば、病気やケガと違って、精神的な疾患は、正常と異常の区別が非常に難しい。例えば、「自分は正常ですと、自信を

持って言えますか?」と尋ねられて、「はい、もちろんです」と言い切れる人は、空気を読めない人かもしれないという話もあるくらいです。そのため、通常行われている、『正常ならばこうなっているものが、これが原因でこのような支障をきたしている。だから原因になっているこれを除去しましょう』といったパラダイムにおける悪者探しが、簡単にはできません。

今、誰もが簡単にストレスという言葉の口にして、「ストレスのせいで凹んじゃった」というようなことを言いますが、多くの場合、同じような負荷を受けた100人が100人同様の精神疾患を患うわけではありません。通常の医学では、り患した人を探してきて、なぜそうなったのかを考えるのですが、精神科においては、り患しなかった人にも注目して、なぜそうならなかったのか、強みは何かということを考えることもとても大事で、双方向的に考えていかないと解明は難しいのではないかと感じています。

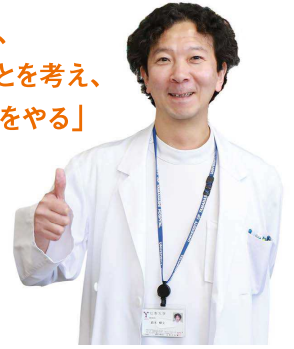
また、精神科では、ゴールをどこに置くかということも非常に難しいことです。少なくとも症状のコントロールは結構できるようになっていますから、薬物療法を上手に用いながら、患者さんが安全に社会生活を送れるようにしていくことが治療になります。そしてそのためには、社会や地域で患者さんが孤立しないよう、社会的な認知も不可欠です。精神医学とか精神医療というのは、社会と密接に関わっていますから、少なくとも知っているという部分は大事だと思います。人間には未知のもの、自分と違うものを排除しようとする傾向があります。精神病患者についても、知らないから、わからないから偏見につながるという状況は今も存在しているようなので、少しでも、説明ができて理解が広がれば、不当な偏見は減るのではないかと思いますし、そこは今後も大事になっていこうと感じています。

### 座右の銘は、 「今できることを考え、 やるべきことをやる」

座右の銘は、あえて言うなら「今できることを考え、やるべきことをやる」。それは常にありましたし、今もありますね。それから学生には、「努力は若いうちにやっておいたほうが良いぞ」と、声を大にして伝えたい。人生を後々後悔するということは、とてもありがちなことではあるでしょう。そうならないように今の時間をどのようにして上手く過ごすということが、とても大事だと僕は思うんです。

その時々で、できることも、時間の余裕も変わってくるから、学生時代には、勉強に限らず、幅広くいろんなことに興味を持って、いろんな人と仲良くなって、自分の世界を広げて欲しいなと思っています。

後々作ろうと思っても、  
良い仲間など、  
簡単に作れるものではありません。  
心底腹を割って付き合える、  
学生時代の縦や横のつながりを、  
もっと大事にしてほしいなと思います。



SUZUKI Takefumi

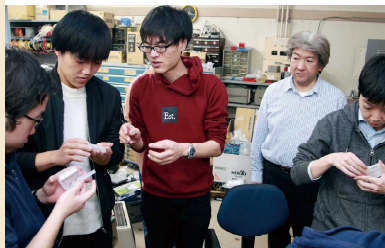
【専門分野】 精神神経科  
【学位】 医学博士(2007)  
【略歴】  
1974年生まれ  
1998年 慶應義塾大学医学部卒業  
1999年～2009年 井之頭病院勤務  
2009年～2011年 トロント大学へ留学  
2011年～2017年 井之頭病院勤務  
2017年～現職  
【受章】  
日本臨床精神神経薬理学会奨励賞(2011)  
日本臨床精神神経薬理学会奨励賞(2009)  
日本臨床精神神経薬理学会ポールヤンセン賞(2008)

## 工学部メカトロニクス工学科 丹沢研究室

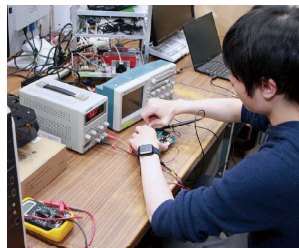
丹沢 勉 准教授

## 「ロボットの眼:ステレオカメラによる三次元環境の認識の研究」

～研究室の活動をとおして、学びたいことを見つけ、やりたいことを実現できるスキルを～



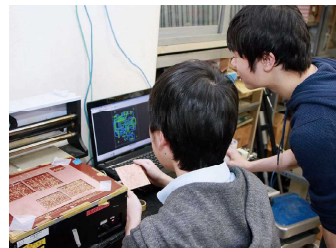
自ら創意工夫することが大切



シロスコープによる出力波形のチェック



3Dプリンタによるロボット部品の作成



制御電子回路基板の試作

## 研究内容



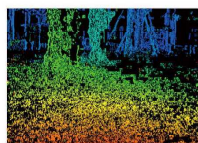
比較画像



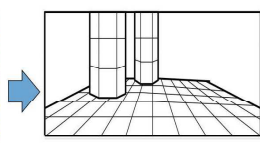
基準画像



ステレオカメラ



距離分布



コンピュータの認識した環境

(距離を色で表現 近  遠)

私たちの研究室では、主にステレオカメラによるロボット周囲環境の三次元認識およびそれに基づいたロボット制御の研究を行っています。ステレオカメラとは、人間と同じように2つの眼で見ることによりその見え方の微妙な違いからコンピュータに立体的に周囲環境を認識させることできるカメラです。近年、自動車の衝突防止機能や自動運転での重要な眼として活躍していますが、夜や雨天時など状況によっては人間に遠く及ばない部分も多くあります。私たちは、自動車やロボットが安全確実に動作するために、人間の眼と同じレベルをめざしステレオカメラの高精度・高機能化の研究を行っています。さらにこの眼を活用し、人の役に立つロボット、特に視覚障がい者の日常生活を支援する盲導犬ロボットなどの開発も



傘回しロボット

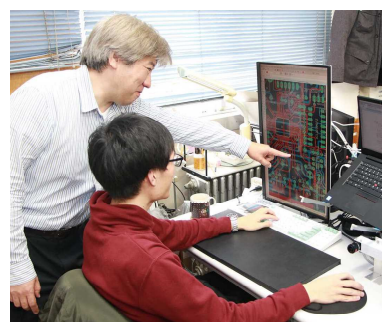
を行っています。また、人を喜ばせるロボットとして伝統芸能の「傘回し」を実現する「傘回しロボット」の開発も

行っています。回転する傘の上で毬などを回す芸ですが、毬だけでなく柁も回せるロボットの開発をしています。

## 研究室での活動

研究室での活動は、卒業研究だけではありません。

ロボットや自動車などは、センサやモータなどを電子回路を介してコン

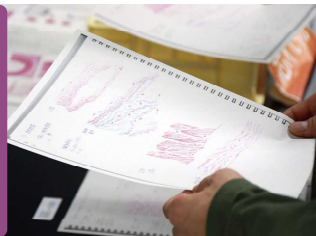


制御マイコンの電子回路設計

ピュータに接続し、ソフトウェアで制御することで高度な機能を実現しています。これらの設計・開発には、機械の知識(構造の力学的理解)、電気の知識(センサー・回路の理解)、情報の知識(制御ソフトウェアの理解)が不可欠です。メカトロニクス工学科は、機械装置に電子工学、情報工学を融合させることにより新たな価値をもつ統合システム(ロボット等)を生み出す知識・技術の習得を目指しています。研究室でも、3年生までに学習してきた知識を基盤として、知っているだけでなく、失敗を含め様々な経験・実践をとおしてやりたいことを実際に実現できる技術の習得に取り組んでいます。

その一例が、ロボコンへ参加するための自律ロボットの開発です。ロボットの目的を実現するためにはどういう動作をすればいいのか、必要なセンサ情報は何かといったことを、自ら考え、調べ、実際に作り、実験し、失敗の原因を突き止め、工夫・対策していく必要があります。モノづくりの基本的な経験をとおし、学生たちが自ら学びたいことを見つけ、やりたいことを実現できるスキルを習得することは、将来の成功に向け大きな財産になると考えています。

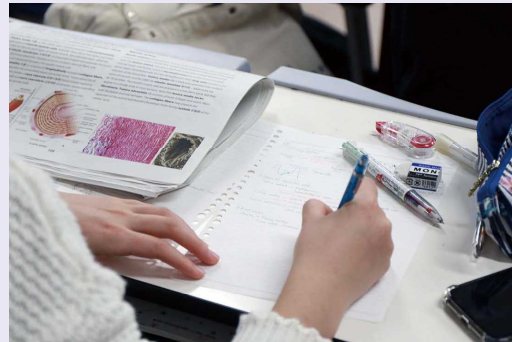




【担当教員】  
解剖学講座構造生物学教室  
小田賢幸 教授  
解剖学講座細胞生物学教室  
竹田 扇 教授



## 人体を学ぶ組織学の第一歩



医学部の基礎医学講義で大きな位置を占める解剖学は、大きく組織学と肉眼解剖学に分けられます。1年次の後期に行われるのが組織学（解剖学A）で、人体の各臓器・組織の構造を細胞レベルで学んでいきます。3時間の講義と、3～5時間のスケッチ実習のセットを19回行う、1年生にとってはかなりハードな科目です。このデジタル時代にスケッチとは前時代的との批判もありますが、スケッチ実習で問われる

のは絵を書く技術ではありません。組織学スケッチとは、顕微鏡像を「所見」として言語化する作業であり、最終的には「所見」を元に、その組織が正常なのか異常なのか判定する病理学へと繋がります。画像を言語化するためには、組織学の知識に基づき、部分構造ごとに分類と判定を繰り返す必要があります。「細胞層が単層か重層か」「細胞境界は明瞭か不明瞭か」「核の染色は淡明か濃染か」「細胞質は酸性か塩基性か」こうした判定結果を組み合わせて、図として「出力」するのが組織学スケッチという作業になります。怠慢な学生は、しばしば先輩のスケッチを丸写しして提出してきますが、そういった「スケッチのスケッチ」は上のような言語化と再出力という過程を経っていないので、一見まともに見えますが、スケッチの文法が守られておらず正常組織像として破綻していることが多いです。スケッチの本質は描画でも模写でもなく、翻訳であるということが理解できないと、上手なスケッチを書くことは難しいでしょう。

このように学生が苦勞することの多い組織学実習ですが、我々教員も緊張する場面がよくあります。実習で用いられるスライドの多くは、大学の附属病院を受診された患者さんからの病理標本ですので、その顕微鏡像が必ずしも教科書通りとは限らないのです。学生から正体不明の細胞や構造について質問されると、白旗を上げて教員側の宿題として文献を漁ることになります。そういった例外的組織像は、最新の研究でもはっきりとした結論が出ていないことが多く、学生の観察眼に脱帽することもあります。

複雑な生体組織構造を「スケッチ」という言語で再構築する実習は、学生にとって不慣れな作業ではあるでしょうが、こういった抽象化が医学の根幹を成しているのです。実習を通して頭と体を慣らしていきましょう。



# close-up



**自分の思いを芸術で表現!**

**子どもたちの感性に向き合える教師を目指します!**

教育学部学校教育課程芸術身体教育コース

**市川 郁弥** (山梨県出身) **ICHIKAWA Fumiya**

**山梨大学教育学部に入った  
きっかけは何ですか?**

中学生のときにバレー部に所属していたのですが、その顧問の先生に憧れたことがきっかけで教師の道を考えるようになりました。将来も地元である山梨で教師として働きたいと考え、山梨大学に進学しました。

**美術の教師を  
目指しているんですね。  
専門は何ですか?**



彫刻です。高校時代は美術部に入っていて、主に絵画を描いていました。大学に入学した際に、新しいことに挑戦したいと考えて彫刻の講義を主に受講しています。ただ、もちろん美術教師になった場合は生徒たちに絵画も彫刻も両方教えることになるので、美術や図画工作に関する分野を幅広く受講しています。

**実際に教育実習に行った  
感想は?**



一本の丸太からここまで仕上げするには何か月もかかります。

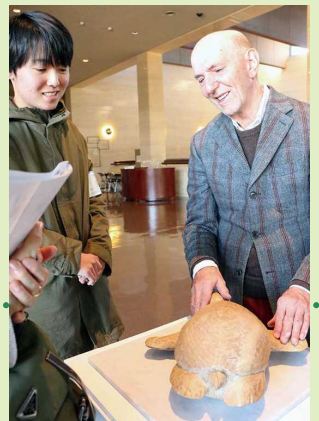


学科の友人たちと1枚!

僕は教育学部附属の小・中学校に教育実習に行きました。実際に子どもたちに指導するのは事前にシミュレーションしていたよりも難しく、普段の座学だけではわからないことがあると実感しました。しかし、それ以上に子どもたちと触れ合うことが楽しく、教師になりたいという思いを再認識しました。

**学生生活で  
印象に残っていることは  
何ですか?**

「手でみる展覧会」という、触れて観賞する彫刻・絵画を紹介する展覧会に作品を出展したことです。実際に作品に触れることで素材や形の面白さをよりわかりやすく体感できることが特徴なのですが、期間中に自分の作品の横に立って、来場された方に作品解説をしたことが印象に残っています。直接作品の感想をいただくことで、自分でも気づいていなかった新しい視点や考え方を知ることができ、とてもいい勉強になりました。



「手でみる展覧会」にて。右は有名なイタリアの彫刻美術館、オメロ美術館のグラッシー二館長。

**休日は何をしていますか?**



旅行先での一幕。充実した毎日です!

よく家の近くなどでランニングをしています。山梨は自然が豊かなので、走っていると気持ちいいですね。マラソン大会に出場することもあります。

また、学科の友人と美術館巡りをしたり、県外まで足を延ばして旅行に行ったりと、友人と過ごすことも多いです。

**受験生に一言!**

受験勉強は大変でしたが、美術を学びたいという想いに向かって頑張ることができました。皆さんも、大学に入ったら自分のやりたいことに自由に取り組みます!今を乗り越えれば楽しいキャンパスライフが待っていると考えて、がんばってください!

# people

研究活動やサークル、プライベートにと輝く山梨大生を紹介します。



**地域医療に貢献! 患者一人ひとりに  
親身に寄り添える医師を目指します!**

医学部医学科

**今澤 早希** (山梨県出身) **IMAZAWA Saki**

**医師を志した  
理由は何ですか?**

幼いころからお世話になっている内科医の先生がいて、とても親身に診てもらっていました。病院というと嫌がったり怖がったりする子どももいるかもしれませんが、その先生はとても人柄がよくて、遊びに行くような感覚で通院していたことを覚えています。その影響で、小さなころから医師になりたいと考えていました。今は、小児科医を目指しています。

**医学部の勉強について  
教えてください。**



テスト後には友人と打ち上げをするのが恒例になっています。

1年目は、全学部の学生共通の科目を甲府キャンパスで受講します。医学部特有の講義が始まるのは主に2年生からで、座学のほかに動物を使っての実験・実習などを医学部キャンパスで受講することになります。勉強はやはり大変ですが、友達同士で集まって勉強会を開いたり、試験問題の対策や傾向の情報を共有したりしています。4年生になれば附属病院で臨床実習が始まるので、実際に患者さんに相对したときに臨機応変に学んだ知識を活かせるようにしたいです。

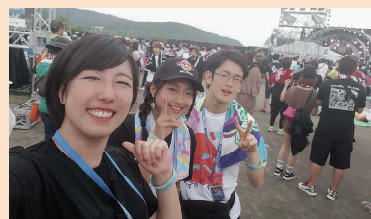
**キャンパスライフは  
どうですか?**



IFMSA-Exchangeの活動で留学生と懇親会!



毎年恒例の水泳部合宿!信州大や新潟大など、他大学と合同で実施しています。



友人と音楽フェスなど息抜きに出かけることも。

私は水泳部・海外医学交流研究会・IFMSA-Yamanashi(国際医学生連盟)の3つのサークルに所属しています。



松本城を来訪。旅行に行くことも多いです。

国際的な活動をするサークルに所属しているのは、母親が英語塾を開いている影響で幼いころから英語が身近にあったためで、海外医学交流研究会ではタイやマレーシアなどの海外の医療機関を見学したり、IFMSA-Yamanashiでは海外から来る留学生のサポートをしたりしています。今年の8月には私も1か月間オーストリアに短期留学する予定で、今からとても楽しみです!ちなみに、3つのサークルに所属とは言っても、それぞれ毎日のように活動しているわけではなく、私の場合は勉強がおろそかにならないくらいにゆる〜く活動しています。

**将来、どのような医師を  
目指していますか?**



長野県の佐久総合病院を見学!

地域住民との信頼関係を築き、病院に行くことが苦ではなく楽しいと思ってもらえるような医師になりたいと考えています。最近では、様々な悩みを抱える小・中学生も多くいるので、そんな子どもたちにも気楽に病院に来てもらえるような医師を目指します。

また、細やかな診療で患者さん一人ひとりを長くずっと支えられる医師になりたいです。暮らしぶりや歩き方を見て不調や異変に気付いてあげられるくらい、親身になって診療を行えるような医師が私の理想です。

**受験の心得を  
教えてください!**

高校生のときに担任の先生に言われた「努力を続ければ目標に限りなく近づける」という言葉が印象的で、自分にできる限りのことをやって受験に臨んだ覚えがあります。本番直前には、気を取られないようにスマートフォンなどは完全に手の届かないところに追いやって勉強しました。とにかくそのくらい、全力で勉強に集中することが大切だと思います!

## a cappella Club ◎山梨大学アカペラ部

好きな曲をアレンジして。  
人間の声だけで音楽を創ります！

こんにちは!山梨大学アカペラ部、名をエクレアと申します!

みなさんは、「アカペラ」がどういうものかご存知ですか?アカペラは人間の出す音だけでJ-POPや洋楽、ゲーム音楽など様々なジャンルの曲を創り上げる音楽活動の1つです。主旋律を歌うリード、ハーモニーを奏でるコーラス、音楽を支えるベース、リズムを刻むボイスパーカッションの構成で行います。

現在の部員数は27名で、みんな仲良く楽しく活動しています。私たちは基本的に6人一組のバンドを作り、各バンド大体週1回の練習を日々積み重ねています。バンドを組めば、学年関係なく音楽を創る仲間としてとても仲良くなれます。練習の成果を発表する場として、県内4大学が集



1年生同期バンドの初舞台、学園祭!

まって学生だけで運営する合同アカペライベント「梨ペラ」が毎年12月に行われ、他大学の演奏を聴いたり交流したりできます。

伴奏などをつけずに自分たちだけで曲を創り上げるため、ハーモニーが綺麗に響いたときやリズムがぴったりそろったときの気持ちよさはアカペラでしか味わえません。音楽好きなそのあなた!ぜひ私たちと音楽、創ってみませんか?部員みんなで待っています♪



集大成・梨ペラでの演奏、緊張と達成感を味わえます!



とあるバンドの練習風景。円になってお互いの顔を見ることも大事です。

## Outdoor Education Club ◎野外教育サークル

野外活動の楽しさを通じて子どもたちを指導!  
最高の充実感を味わえます!

こんにちは、野外教育サークルです!野外教育とは、主に児童を対象に、ピクニックやバードウォッチングなど、野外活動や自然体験活動を通して行う教育活動のことです。

私たちの主な活動は、子どもたちとキャンプをすることです。夏休みに行われる約5日間のキャンプと、冬に行われる、スキーを中

心とした活動を通して、約5日間自然と触れあう体験教室の2つがこのサークルの大きな活動です。

これ以外にも、週末にキャンプのプログラムがあったり、サークルのメンバーたちだけで野外活動をすることもあります。また、このサークルが出来たのは最近ですが、これらの活動自体は40年以上の歴史があり、経験豊富な社会人のスタッフも多くいます。

子どもを預かっているという立場上、気の抜けない部分はありますが、子どもたちからパワーをもらい、可愛さに癒されながら活動しています。仲間たちと支えあってキャンプを乗り越えたあ



子どもたちと行くキャンプの下見。準備も大切です。

との達成感はひとしおです!

教員を目指している方や、子どもが好きな方、野外活動が好きな方、一緒にキャンプをしませんか?サークルに入るまで野外活動をやったことがなかったメンバーもいますよ。夏のキャンプと冬の教室の前には説明会も行っていますので、興味がある方はぜひ一度お越しください!



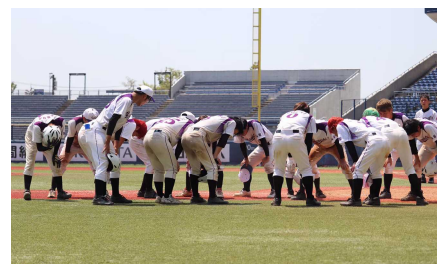
一面の銀世界でスキー特訓!



新入生歓迎キャンプ!アウトドアでは仲がより深まります。

# Junko Baseball Club Medical Campus 〇医学部準硬式野球部

青空のもと白球を追う！  
勝利を目指して楽しくプレー！



チーム一丸となって気合を入れます！

年勝利から遠ざかっているので一丸となって頑張っています。

大学から野球を始めた初心者から高校野球をやっていた経験者まで様々な人が楽しく取り組んでいます。野球が大好きな人がたくさんいるので、プロ野球や甲子園談義などで盛り上がることも！僕たちと野球を一緒に楽しみましょう！興味がある方は気軽に遊びに来て下さい！

こんにちは！医学部準硬式野球部です！  
準硬式野球は、軟式球と硬式球の中間のような準硬式球を使ってプレーします。硬式野球のように打球が力強く飛びますが、球の表面がゴムで柔らかいので安全性は高いのが特徴です。

僕たち準硬式野球部にはプレイヤー16人、マネージャー4人がいます。どの学年も同じく

らいの人数がいて学年関係なくとも仲の良い部活です。週に3～4日ほど、平日の夜と土曜日の昼間に練習をしています。

また、ある時は休日に公式戦や練習試合が、春と秋には関東医科リーグ戦があります。山梨大学は1部リーグに所属していて、そこで優勝することを目標にしています。さらに、一番の目指すところは東日本医科学生総合体育大会（東医体）で勝つことです。過去には東医体で優勝したこともあるのですが、ここ数



試合後の一枚。さすががしい表情です！



プレイボール！

# Men's Volleyball Club Medical Campus 〇医学部男子バレーボール部

息を合わせてボールをつなぐ！  
連携が重要なスポーツです。

こんにちは！医学部男子バレーボール部です。

現在は、17人の選手と6人のマネージャーが所属しており、毎年行われる大会に向けて、週3回の練習に励んでいます。入学してからバレーを始めた人がほとんどですが、経験者を中心に意見を出しあって練習メニューを工夫しているので、皆で助け合って上手になっていく、そんな実感が得られる部活です！

部員同士仲が良く、バレーボール以外にもスノーボード合宿や音楽フェスなど季節の催し物に行ったり、カラオケに行ったりなど一緒に遊ぶことが多いです。女子バレー部とも部員同士仲良く交流しています。

また、大会などで県外に遠征することも多く、他大学の人も交流できるので、バレーを通じて交友関係が広がることが特徴です。特に信州大学の医学部バレーボール部の皆さん



信州大学との合宿。練習試合などで実戦の感覚を身に着けます。とは年に2回合宿をしていて、お互いに高めあえる関係です。

運動部ですが、そこまで体育会系の色は強くないアットホームな雰囲気の特徴です。看護学科、医学科問わず部員を募集しているので気になった方は是非、体育館まで足を運んでみてください。



3人でコートを守り、基本的な動作や連携を磨く「スリーメン」練習。



強烈なスパイク！

## 令和2年度から数理・データサイエンス・AI教育を必修化 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開」協力校に選定

本学では、文系学部・理系学部問わず令和2年度以降に入学する全ての学部学生に数理・データサイエンス・AI教育を必修化します。

データを分析し読み解き、それを利活用する「データリテラシー」能力が求められる現代。本学では、卒業までに一定水準の知識やリテラシーを身につけられるよう、様々な取り組みを展開します。

- 数理・データ・AI分野を専門とする教員の配置
  - 学びたいときにいつでも学べる快適なオンライン学習環境の構築
  - 基礎を学ぶ基本コンテンツと発展的な高度コンテンツなどを組み合わせた必修科目
  - プログラミング無しでAIを構築できる基板を活用した応用基礎教育
  - 自宅であらかじめオンラインで講義を受講し大学で演習や議論を行う「反転授業」の取り組み
- ※上記は一例です

また、文部科学省は、数理・データサイエンス・AI教育の各大学への普及・展開を図るため、全国のモデルとなる拠点校6大学及びその協力校20大学を設置していますが、この度新たに追加で3校の協力校が選定され、関

東・首都圏ブロックの協力校として本学が選ばれました。令和2年度から、数理及びデータサイエンスに係る教育強化事業「シン・ヤマナシ：やまなし発・数理×データ×AI教育の新展開」により、拠点校の東京大学及びほかの協力校5大学と連携して数理・データサイエンス・AI教育を推進します。



## NEWS &amp; TOPICS 2

## 「国立大学イノベーション創出環境強化事業」に地方の総合大学で唯一採択！ —重点支援①において55大学中1位の評価を受ける—

本学は内閣府令和元年度「国立大学イノベーション創出環境強化事業」に採択されました。

これは、各国立大学の外部資金獲得実績及び今後の民間資金獲得額増加のための計画などを踏まえ、優れた国立大学に対し、イノベーション創出環境を強化するための交付金が配分されるもので、交付金額は初年度2億円、2年度目は1億円を予定しています。

会見で島田眞路学長は「対象となった重点支援①・②の70大学の中で本学を含む3大学が採択され、中でも重点支援①において本学は55大学中1位の評価を受け、地方の総合大学では唯一採択された。本事業を推進することで、他大学のモデルケースとなると確信している」と取り組みへの熱意を述べました。

### 採択大学・配分額一覧

審査区分	順位	大学名	初年度配分額
重点支援①の大学 (地域貢献型大学) 対象大学：55大学	1	山梨大学	2億円
	2	名古屋工業大学	1億円
重点支援②の大学 (教育研究型大学) 対象大学：15大学	1	東京医科歯科大学	3億円
重点支援③の大学 (卓越した教育研究型大学) 対象大学：16大学	1	千葉大学	5億円
	2	東京工業大学	4億円

今後、新設した「イノベーション創出強化本部」及び「民間資金計画委員会」が核となり、学内の資源をビジネスとして成立させるため、企画・立案・交渉・契約等を総括する事業開発支援チームを立ち上げ、①共同研究②受託研究③寄附金獲得体制強化④研究支援等体制強化⑤資産活用の5つの民間資金獲得増加策を展開することにより、民間資金の好循環を形成し、地域発・産学協創エコシステムの構築を目指します。



(左から)記者発表に臨む島田眞路学長、早川正幸理事・副学長

## NEWS &amp; TOPICS 3

## アンドロイド(人間型ロボット)研究の第一人者! 石黒 浩 大阪大学名誉教授が特別講演



講演する石黒浩教授

令和元年11月2日(土)、本学卒業生の石黒 浩 大阪大学名誉教授が「ロボットと未来社会」と題して特別講演を行い、同窓生や学生・教職員、山梨県内の高校生など約250名が参加しました。

「マツコロイド」など、様々なアンドロイドやロボット研究の第一人者として知られる石黒教授は、人間にとって理想的なインターフェースは人間であることから、ロボットは今後どんどん人間らしくなり、社会に溶け込んで日常の中で人間と対話・共生するようになっていくと述べ、実際に開発されている対話可能なロボットを映像を交えて紹介しました。

また、技術の進歩により、コンピュータ・機械が脳や人体の機能を



学生とロボット社会のこれからについて質疑応答

を超え、SF作品で見られるように身体を機械に置き換えるような未来が来るかもしれないと語りました。

講演終了後には、ロボット研究をしている学生などと活発な質疑応答が交わされるなど、有意義な講演会となりました。

## NEWS &amp; TOPICS 4

## 地域人材の育成のため、 山梨県内5大学と山梨経済同友会が 産学連携協定を締結!

令和元年7月19日、本学を含む山梨県内5大学(山梨大学、山梨県立大学、都留文科大学、山梨学院大学、山梨英和大学)と山梨経済同友会の産学連携協定を締結しました。

これは、地域人材や産業振興に貢献できる人材の育成を目的に締結されたもので、この協定に基づき、山梨県内で学ぶ大学生を対象とした勉強会である「つばさを広げる会」を定期的開催しています。

勉強会は、山梨県内の大学生を対象としており、時代の最先端で活躍する企業経営者やクリエイターを講師として招き、その経験や考え方を講義してもらうことで、チャレンジ精神やものごとをやり抜く人間力を養成します。

令和元年11月7日に行われた第1回目の勉強会では、山梨県出身の中村和男シミックホールディングス株式会社代表取締役CEOが講師となり、日本で初めて医薬品開発支援事業を開始した経験



談を語り「大きな目標を掲げて積極的に物事に挑戦してほしい」と学生を激励しました。

連携協定を締結



約160名の学生が参加しました!

## NEWS &amp; TOPICS 5

## テレビ東京のドラマ「ゆるキャン△」の撮影に 本学学生が協力!



旧下部小・中学校での撮影の様子 アニメのパネルと記念撮影!

本学学生が、テレビ東京放送の実写ドラマ「ゆるキャン△」の撮影にエキストラとして協力しました。

「ゆるキャン△」原作は「COMIC FUZ」(芳文社)で連載中のアウトドア系漫画で、主に山梨県を舞台に女子高生たちがキャンプをしたり日常生活を送ったりする様子をゆるやかに描いた人気作品です。県や(公社)やまなし観光推進機構、身延町や同町五条が丘地区を中心に有志が連携し、地域一体となって作品を活用したまちおこしが行われています。

今回のドラマ制作に際し、生命環境学部地域社会システム学科観光政策科学特別コースの田中 敦 教授ゼミの学生を中心に、地域活性化事業を学ぶ本学学生がエキストラとして参加しました。これは同ゼミの学生らが、作品内に登場する架空の高校「本栖高校」のモデル地となった旧下部小・中学校跡地で開催された「本栖高校学園祭 秘密結社ブランケット音楽祭」の企画・運営



撮影に協力した学生らと田中敦教授(左)

に参画したことなどから、実現したものです。

ドラマ「ゆるキャン△」はテレビ放送のほか、配信等が行われています。ぜひご覧ください。

## 山梨大学・読売新聞社共催「連続市民講座2020」知る喜び ～ひと・くらし・けんこう～

山梨大学では、2020年度も読売新聞甲府支局と共催し、「知る喜び～ひと・くらし・けんこう～」と題した全10回の連続市民講座を開催します。

聴講は無料です。2020年4月～2021年3月の第3土曜日(11月のみ第2土曜日。8月・1月は休講)、本学の教員が登壇し、専門の分野を図解などを用いて分かりやすく解説します。7回以上出席した聴講者には修了証書「Master of Delight in Knowledge」を授与します。

### 【日時・場所】

開催日：スケジュール一覧表参照

会場：山梨大学甲府東キャンパス A2-21教室  
定員：330人

時間：午後1:30～3:00まで(午後1:00開場)  
受講料：無料

### 【お問い合わせ先】

〒400-8510 甲府市武田4-4-37

山梨大学教務企画課連続市民講座担当

電話:055-220-8043 FAX:055-220-8796

メール:koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

### 【スケジュール一覧表】

\*詳細は右記ホームページをご覧ください。 <http://www.yamanashi.ac.jp/social/378>

	開催日	演題	所属	職名	講師名
第1回	2020年4月18日(土)	「酒は飲んでも呑まれない」ための実践	教育学部	教授	小畑 文也
第2回	2020年5月16日(土)	持続可能な社会を目指す省エネルギー技術～地中熱エネルギーの利用法～	工学部	教授	武田 哲明
第3回	2020年6月20日(土)	脳の最新治療と脳卒中予防～健康長寿を手に入れるには～	医学部	病院准教授	金丸 和也
第4回	2020年7月18日(土)	植物の「カタチ」を科学する	生命環境学部	教授	島 弘幸
第5回	2020年9月19日(土)	記憶の仕組み～覚たい?忘れたい?～	医学部	教授	大塚 稔久
第6回	2020年10月17日(土)	ブドウを科学する～ゲノムに刻まれたブドウの秘密～	生命環境学部	教授	鈴木 俊二
第7回	2020年11月14日(土)	山梨の災害リスク～備えない防災「フェーズフリー」のすすめ～	工学部	准教授	秦 康範
第8回	2020年12月19日(土)	災害と教育～語りの難しさについて～	教育学部	准教授	岩井 哲雄
第9回	2021年2月20日(土)	気持ちよい排泄を保つ～日常生活で取組めるセルフケア～	医学部	教授	谷口 珠実
第10回	2021年3月20日(土)	高齢ドライバー問題とは何か?～知られざる本質・課題と今後～	工学部	教授	伊藤 安海

\*スケジュールは2020年3月10日時点のものです。

## 2020年度 学年暦(年間予定表)

\*予定は2020年3月10日時点のものであり、今後変更される場合があります。

事項	期日等
前期開始	4月 1日(水)
ガイダンス等	4月 1日(水)～4月10日(金)
入学式	4月 7日(火)※中止
前期授業開始	4月13日(月)
授業振替日	8月 3日(月)水曜日の振替日
前期授業終了	8月 3日(月)
夏季休業	8月 4日(火)～9月22日(火)各学部で定める
秋季卒業式・修了式	9月25日(金)
前期終了	9月30日(水)

(注)1. 授業振替日とは、授業回数不足している曜日について、当該不足曜日の授業を振替えて行うものです。

2. 1月15日(金)は、大学入学共通テスト準備のため休講となります。

ただし、医学部キャンパスは医学部授業時間割による授業を行います。

事項	期日等
後期開始	10月 1日(木)
開学記念日	10月 1日(木)
秋季入学式(大学院)	10月 1日(木)
後期授業開始	10月 2日(金)
大学祭(医学部キャンパス)	10月23日(金)～10月25日(日)
大学祭(甲府キャンパス)	10月30日(金)～11月1日(日)
授業振替日	11月26日(木)月曜日の振替日
冬季休業	12月23日(木)～1月 6日(水)各学部で定める
後期授業終了	2月 5日(金)
春季休業	2月 6日(土)～3月31日(水)各学部で定める
卒業式・修了式	3月23日(火)予定
後期終了	3月31日(水)

### 今号の表紙 大学アライアンスやまなしの設立



新たに設立された法人の事務局は甲府キャンパス内に設置されました。現在、地域における大学の役割は次第に拡大し、それに対応すべく日本全国で大学の連携・再編等の動きが進んでいます。本学・山梨県立大はその先駆けとして、少子化や18歳人口の県外流出など、地域課題の解決に向け、協働で事業に取り組んでまいります。

### 編集後記

記録的な暖冬が終わり、春の訪れを感じる季節。「山梨大学広報誌Vine36号」をお届けします。

今回は、新たに制作したブランドマークを紹介しました。風に乗って飛翔する楓の種子を、地域へ、世界へ羽ばたく大学生と重ね合わせモチーフにしたブランドマークのメインカラーは青空をイメージしており、日本有数の日照時間の長さを誇る山梨県に所在する本学にぴったりの色と言えます。

大空へ飛び出した種子がその先で芽吹き、次世代の種子をさらなる世界へ飛び立たせる。このマークに込められた想いを抱き、本学ではより一層の教育・研究を推進していきます。

(広報企画室)

### 山梨大学広報 ヴァイン

2020  
vol.36  
March

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務課広報企画室

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8799

E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学ホームページ

<https://www.yamanashi.ac.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

リサイクル適性 (A)